

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2024年度 第2回ひょうご産官学連携協議会総会
議事次第

日時：2024年10月24日(木) 15時00分～16時00分

場所：オンライン会議 (ZOOM)

出席者：兵庫県総務部教育課

兵庫県中小企業家同友会

兵庫県商工会連合会

兵庫県中小企業団体中央会

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校

(タイプ3プラットフォーム型申請責任者、コンソ担当者、企画運営委員会委員)

I. 審議事項

1. 令和6年度私立大学等改革総合支援事業タイプ3プラットフォーム型の申請について (資料1)

II. 報告事項

1. 2024年度 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校学生対象の
学生生活意識調査について (資料2)
2. リスクに関する情報交換会(茶話会)について (資料3)
3. 災害救済ボランティア活動支援関係団体連絡会議について (資料4)
4. その他

III. 連絡・調整事項

1. 第3回ひょうご産官学連携協議会総会及び2024年度活動報告会
日時：2025年3月
2. その他

以上

<資料一覧>

資料1-1：令和6年度私立大学等改革総合支援事業申請について

資料1-2：タイプ3PF型提出資料① 体制概要と中長期計画評価

資料1-3：タイプ3PF型提出資料② 調査票、PF参画団体一覧、意見書

資料2-1：2024年度 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校学生対象の学生生活意識調査について

資料2-2：共同IRの実施結果の地方自治体及び地元産業界等と共有及び改善の協議等について

資料3：リスクに関する情報交換会(茶話会)について

資料4：災害救済ボランティア活動支援関係団体連絡会議関連資料

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業 タイプ3申請について

私立大学等改革総合支援事業

令和6年度予算額
(前年度予算額)

112億円
112億円)



事業概要

未来を支える人材を育む特色ある教育研究の推進や高度研究を実現する体制・環境の構築、地域社会への貢献、社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する。

基本スキーム (イメージ)

※ 1校当たりの特別補助交付額：タイプ1, 3は1,100万円程度、タイプ2は2,600万円程度、タイプ4は1,700万円程度を想定（各選定校数等により変動。このほか、一般補助における増額措置。）

タイプ 1

「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」

105校程度

- 「Society5.0」時代に求められる力を養う、総合知を育む文理横断的な教育プログラムの実施、学修の幅を広げる教育課程の工夫等、未来を支える人材育成のための教育機能の強化を促進
- 入学者選抜の充実強化、高等学校教育との連携強化等、高大接続改革への取組を支援

タイプ 2

「特色ある高度な研究の展開」

45校程度

- 研究基盤・支援体制の整備や国内外との頭脳循環の促進、他大学や研究機関等との連携による研究の推進など、特色ある研究の高度化・強化に向けた大学等の機能強化を促進

タイプ 3

「地域社会の発展への貢献」

125校程度 (20~40グループ含む)

- 地域と連携した教育課程の編成や社会人の受入れ、地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会、産業、文化等の発展に寄与する取組を支援
- 大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた、地域と大学等双方の発展に向けた取組を支援

地域連携型

プラットフォーム型

タイプ 4

「社会実装の推進」

50校程度

- 産業連携本部の強化や企業との共同研究・受託研究、知的財産・技術の実用化・事業化、産業界と連携した社会実装の推進に向けた取組を支援

私立大学等改革総合支援事業への申請状況

		2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)
私立大学等総合支援事業予算		176 億円	131億円	147億円	114億円	110億円	112億円	112億円	112億円
申請タイプ		タイプ5 都市型	タイプ5 発展型 I	タイプ3 プラットフォーム型(都市型)					
ひょうご 産官学連携 協議会	個別申請校数	14校	19校	7校	8校	9校	9校	9校	14校
	採択校数	14校	5校	5校	4校	4校	7校	8校	

2024（令和6）年度 プラットフォーム型申請校

- ・ 大手前大学
- ・ 関西国際大学
- ・ 甲南大学
- ・ 神戸国際大学
- ・ 神戸女子大学
- ・ 神戸親和大学
- ・ 兵庫大学
- ・ 大手前短期大学
- ・ 関西学院大学
- ・ 神戸学院大学
- ・ 神戸松蔭女子学院大学
- ・ 神戸女子短期大学
- ・ 神戸常盤大学
- ・ 流通科学大学 （五十音順）

令和6年度の主な変更点（配点見直し、選択肢の高度化や廃止）

- 活性化対象地域におけるプラットフォーム参画大学の割合が75%以上→50%超
- 産業界との包括連携協定の締結及び協議を年2回以上→年4回以上
- 社会人のキャリア形成に係るプログラム等を実施した・企画のみしている→実施した
- プラットフォームにおいて共同のFD又はSDを実施したか→実施し、公表した
- 大学事務の共同実施、共同実施への参加は、項目ごと削除。別の交付金助成事業（「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」）へ

今後の課題について

- 自治体との包括連携協定の締結及び協議
→自治体の長（兵庫県知事）は、定期的な協議体制に参加していない。
- 自治体からの支援
→兵庫県から、プラットフォームの運営そのものに対する支援はない。
支援内容は、財政支援、人的支援、物的支援
- 学生募集活動に係る取組
PF参画大学等との外国人留学生対象の合同大学説明会、選抜試験の実施。
→各大学の留学フェアへの出展時期・場所、決定時期等の情報を収集し、検討へ

配点・選定条件・ひょうごPF得点の推移

		2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)	
私立大学等改革総合支援事業		176億円	131億円	147億円	114億円	110億円	112億円	112億円	112億円	
申請タイプ		タイプ5 都市型	タイプ5 発展型 I	タイプ3 プラットフォーム型 (都市型)						
共通 設問	設問数	27	30	30+4 (加点項目)	34	26	25	23	22	
	満点	84	74	76	78	70	64	53	49	
	選定 条件	点数	56	50	48	54	48	42	30	
		%	67%	68%	63%	69%	69%	66%	57%	
	ひょうご 産官学連 携協議会	ひょうごPF	66	54	57	57	54	55	46	43
		%	79%	73%	75%	73%	77%	86%	87%	88%
		毎年の選定条件を大幅に超過								
個別 設問	設問数	23	24	22	22	20	21	22	21	
	満点	54	50	50	50	47	48	50	48	
	選定 条件	点数	—	17	17	19	23	23	24	
		%	—	34%	34%	38%	49%	48%	48%	

様式1) プラットフォームの連携体制・中長期計画の概要図(1ページ以内) ※全てのプラットフォームが記入

○現状・課題、ビジョン・目標(数値目標含む)、連携体制図(協議体制含む)、取組の抜粋等により、プラットフォームの全体像がわかるように作成してください。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

【基本方針】

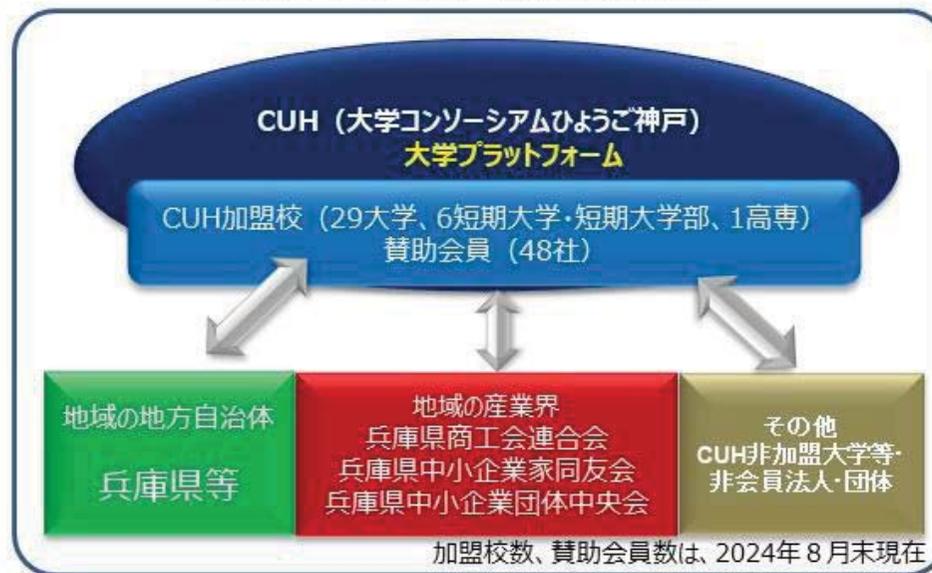
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。

さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多角的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多角的な教育活動に寄与する計画とする。

【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



【取組みの概要】

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携

- ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上 (加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)
- ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
- ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援

- ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
- ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進

3. 県内大学の教育・研究の質を高める多角的学びの提供

- ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
- ⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
- ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

- ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
- ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考: 大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

様式2) 中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入	
全体評価	S : 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
A	A : 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
	B : 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
	C : 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
	D : 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
評価理由	
<p>当プラットフォーム（「ひょうご産官学連携協議会」以下、「当協議会」という。）構成メンバーのうち、大学のプラットフォームである一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（以下、「当コンソ」という。）においては、加盟校は36大学等となり、県下51大学等の内71%が加盟となった。</p> <p>当協議会では、中長期計画Ⅱ期において10課題を設定し、課題を解決するために18の取組を計画・実施している。2024年9月末日現在までの実施状況について、S評価：3取組、A評価：14取組、B評価：1取組、C、D評価はなし、評価外：なしと評価した。</p> <p>2024年度は、担当委員会や参加学生とともに知恵を出し合い、プログラム内容はもちろん、参加の間口を広げるために開催方法（対面、オンライン、ハイブリッド開催等）も工夫することで、当初の事業計画をほぼ実施している。その結果、全体としては5年間の中長期計画Ⅱ期の3年目として課題解決に向けて着実に実行しており、目標に対し十分な成果が見込めるとの判断でA評価とした。</p> <p>各取組について、当協議会の評価及び改善の手順に則り、次年度に向けて適宜見直しを行い、中長期計画Ⅱ期で策定した各課題の解決のため、地域の自治体（兵庫県）との連携強化、及び当コンソの賛助会員の増加を含めた地域の産業界との更なる共創に取り組む。</p>	
評価に関する備考（考慮すべき事項）	
<p>当協議会では、中長期計画Ⅱ期に策定した各課題を当コンソの各事業委員会にて分担して実施しているため、課題の解決に向けて各事業委員会が情報共有し、連携を密にして進めることが重要である。このことを踏まえ、昨年度から引き続き事業委員会体制の強化について、当コンソの理事会を中心に検討を進めている。</p> <p>現在の中長期計画Ⅱ期の3年目に当たる今年度は、委員会でのワーキンググループを複数立ち上げ、現在の課題の共有・検討を行い、解決策の討議を実施した。新たに自治体と協定を結び、学生の地元就職支援の取り組みを行うなど加盟校間・地域とのさらなる連携強化をはかりつつ、長期的なひょうごの活性化に繋げていくための活動を実施している。また、防災を担当する若手職員が、他大学の担当者と交流する場として、リスクマネジメント体制についての情報交換会を開催をする。前年度に引き続き、今年度も地方自治体（兵庫県）との連携強化、及び当コンソの賛助会員の増加を含めた地域の産業界との更なる共創に取り組む。</p>	

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
<p>①地域の活性化のための県内企業就職率の向上</p> <p>キャリア委員会</p>	<p>【取組1の目標】 本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の70%以上</p> <p>参加者数 2500名以上/5年 (学生数2250名以上、教職員250名以上)</p>	<p>【取組1】 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。</p> <p>【取組1-1】 ①大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 ・合同企業説明会 ・企業とキャリアセンターとの意見交換会 ・情報技術を活用した魅力ある県内中小企業情報の発信 ・県内企業間の情報連携</p> <p>②大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 ・経営者による職業観形成プログラム ・若手社員による学生啓発プログラム</p>	<p>【取組1の活動指標】 各年参加者数500名以上 (学生数450名以上、教職員50名以上)</p>	<p>県内企業就職率 28.2% (2023年度) 2023年度:参加学生:658名 参加教職員:183名(県内企業理解が深まった割合:88.9%)</p> <p>【取組1-1】 『大学キャリアセンター職員向け』 ・キャリアセンター向け企業説明及び意見交換会 ①留学生のキャリア支援に関心ある企業×大学 情報交換会(2023/9/16)教職員11校12名、企業17社22名、行政等1団体2名 ②企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE (2023/10/18 協業:神戸商工会議所) 教職員24校33名、企業76社109名、行政等3団体11名 ③大学キャリアセンターと淡路島内会員企業との意見交換会(2023/12/1 協業:淡路市商工会)教職員13校13名、企業7社9名、行政等5団体5名 ④企業×大学情報交換会(2024/1/20)教職員14校15名、企業22社31名、行政等1団体2名 ⑤丹波地域企業と大学等との就職情報交換会 (2024/2/22 協業:丹波地域人材確保協議会) 教職員14大学16名、企業13社13名、行政等5団体7名 ⑥兵庫県中小企業家同友会会員企業×キャリア意見交換会(2024/3/8 協業:中小企業家同友会) 教職員10大学8名、企業40社120名、行政等3団体14名 ・情報技術を活用した魅力ある県内中小企業情報の発信(計2回)/学生視点による企業の紹介動画コンテンツを作成・配信 ①「TAT×甲南大学」(2023/12/1 公開) 学生1校9名、教職員1校1名 ②「みなと銀行×神戸学院大学」</p>	<p>S</p>

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				(2023/12/18 公開) 学生2校2名、教職員1校1名 ・県内企業間の情報連携(計3回)県内企業に就職した県内大学生を対象にその企業に就職した理由等を調査し情報共有/ エムシーシー食品(株)、日本テクノロジーソリューション(株)、和田興産(株)・企業3社3名 『大学生に対する取り組み』 ・経営者による職業観形成プログラム ①剣道体験から知る 面白い! 日本文化! (2023/7/8)学生14校62名、教職員6校9名、企業2社2名 ②産学連携による「全員発揮型のリーダーシップ」研修 (計5回:2023/10-2024/1) 学生5校70名、教職員2校18名、企業3社8名、行政等3団体17名 ③面接大作戦&ネットワークング (2024/1/20)学生20校79名、教職員14校16名、企業22社32名、行政2団体3名 ④リーダーシップ開発セミナー (2024/2/15 協業:特定非営利法人日本アクションラーニング協会・甲南女子大学)学生5校21名、教職員8校10名、企業15社17名、行政等4団体6名 ・若手社員による学生啓発プログラム ①合同模擬グループディスカッション (2024/1/20)学生20校79名、教職員14校16名、企業22社32名、行政等2団体3名 ②加盟大学合同キャリアセミナー (計2回:2024/12/9・2/17) 学生5校70名、教職員2校18名、企業3社8名、行政等3団体17名 ③公務員試験対策特別セミナー (2024/3/7)学生50校250名、教職員6校8名、企業1名	

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
		<p>【取組1-2】 「尼崎市」大学生等向け職場体験事業 【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業「大学生等向け職場体験事業」】 尼崎市内の企業（中小・大手の事業者等）を複数社組み合わせた職場体験イベントを実施する。 具体的には、市内企業3社を1コース（1社半日～1日程度）とし、各事業所の業務内容や業界説明、工場見学等も取り入れた職場体験を行う。</p>		<p>④ひょうご就職サミット：(2024/3/8協業：兵庫県中小企業家同友会) 学生20名、大学55名、企業40社、120名、行政等3団体14名 2024年度： 『大学キャリアセンター職員向け』 ・キャリアセンター向け企業説明及び意見交換会（計3回実施予定） ・県内企業間の情報連携（計3回実施予定） 『大学生に対する取り組み』 ・経営者による職業観形成プログラム（計1回実施予定） ・若手社員による学生啓発プログラム（計1回実施予定） 【取組1-2】 2024年度：参加学生数：延べ18校73名（県内企業理解が深まった割合：100%） ・大学生等向け職場体験事業「仕事&キャリア発見@あまがさき（2024/8/19-9/18）（協業：尼崎市）学生16校25名（延べ64名）※マッチング75件（平均2.5社/1人）企業10社71名、行政等1団体20名</p>	
	【取組2の目標】 情報公開企業・団体数120社以上	【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。	【取組2の活動指標】 企業情報の追加掲載 2種類以上	「地元で働こう!兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開(掲載企業153社) 2023年度追加情報 /ミモザ企業・地域未来牽引企業 2024年度追加情報 (予定) /WLB企業・兵庫型奨学金返済支援制度導入企業	A
②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続 高大連携委員会	【取組1の目標】 各年参加校数20校以上	【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。	【取組1の活動指標】 意見交換会等の実施/年1回以上	意見交換会等の実施 2023年度:2回 / 2024年度:3回 1.兵庫県教育委員会との協議 2023年度:(2023/9/1) 教育委員会高校教育課3名 関西国際大学3名、神戸親和大学2名 2024年度:(2024/9/2) 教育委員会高校	A

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				教育課3名、関西国際大学3名、神戸親和大学1名 2. ひょうご高校大学コンソーシアム 2023年度:「高大連携と選抜・探究学習について～社会で活躍できる人材育成に向けて」(2023/12/11)加盟校20校27名、高校34校49名、企業・団体1社1名、兵庫県教育委員会1名 計78名参加 2024年度:「総合型選抜と進路指導 大学はどのような学生を求めているのか」(2024/9/17)加盟校22校26名、高校29校40名、兵庫県教育委員会1名 計67名参加 3. 合同進学説明会(2024/9/17) 加盟校22校26名、高校29校40名、兵庫県教育委員会1名 計67名参加	
	【取組2の目標】 各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	【取組2】 加盟校の魅力情報を発信 加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。	【取組2の活動指標】 大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上	2024年度:6-7月更新・コンソHPにて各大学の「オープンキャンパス」「学園祭」「学び発見マップ」(学部学科情報)「知りたい!探究学習」(高大連携における探究学習支援に取り組む加盟校の紹介)等の情報を発信。また「ひょうご高校大学コンソーシアム」「合同進学説明会」開催の情報を高等学校校長会を通して県下の高等学校に提供	A
③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進 学生交流委員会	【取組1の目標】 各年参加者数50名以上	【取組1】 テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。	【取組1の活動指標】 参加加盟校数 10校以上/年	2023年度:384名 2024年度:310名(9/23現在) 2023年度実績: ①地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動(2023/5-2024/3)6校37名 ②ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト(2023/8-2024/1)252名 ③兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project ~2025年大阪 関西万博に向けて ~兵庫県「ひょうごフィールドバビリオン」との連携 ・キックオフイベント「大阪・関西万	A

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				博 2025 機運醸成フォーラム (2023/12/10) 30 名 ・ひょうごフィールドパビリオン SDGs 体験型地域プログラム事前講習会・モ ニター体験 (2024/2/27・28、3/5・ 3/12・15・19・27) 65 名 2024 年度実績: (9/23 現在) ①地域子育て支援拠点・こどもの居場 所でのボランティア等活動 (2024/7- 継続中) 1 校 1 名 ②ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジ ネスコンテスト (参加申込学生: 11 校 56 名) ・意見交換会 (2024/6/14) 11 名 ・運営ミーティング (2024/8/7) 4 名 ・オリエンテーション (2024/9/23) 53 名 ③兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project ~2025 年大阪 関西万 博に向けて ~兵庫県「ひょうごフィ ールドパビリオン」との連携 ・ひょうごフィールドパビリオン SDG s 体験型地域プログラムモニター体験 (2024/4/1. 5. 14) 51 名 ・未来へつなごう! 万博展 (展示制作 ワーク・開会式・展示見学会・ワーク ショップ・学生フォーラム) 190 名	
	【取組2の目標】 情報公開数 200 取組以上	【取組2】 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組 広報の実施 加盟校の学生が地域の活性化に関する取組事例を大 学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに 公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねること により、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。 地域で若者が活躍する姿を周知することにより、 地域の活性化のための貢献活動に取り組む。	【取組2の活動指標】 各加盟校からの情報提供/ 年 1 回以上 情報公開数 40 取組以上/年	2023 年度・2024 年度： ①各加盟校からの情報提供として、コン ソHP「地域・社会での交流～学生 の地域での活動がわかる！大学コンソ ーシアムひょうご神戸加盟校 情報一 覧」に各校の地域連携・社会連携情報 リンクを集約。各年 1 回更新・掲載。 (2023 年度: 38 校/2024 年度: 36 校) ・地域の活性化に関わる加盟校学生の 取組事例「note」記事「地域で輝く学 生」掲載 2023 年度: 25 取組 2024 年度: 5 取組	B

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
		れを対象として、留学生の採用から採用後の職場定着までを支援する事業を行う。		①「企業×大学キャリアセンターミーティング in ひょうご」(2023/12/1) 教職員15校20名、企業31社、行政49名	
⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進 国際交流委員会	【取組1の目標】 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定) 参加者数 2500名以上/5年	【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(日本学生支援機構委託事業)において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成する事を推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。	【取組1の活動指標】 各年参加者数 500名以上	各年参加者 2023年度(9/1-3月末日):1,172名 2024年度(4/1-9/30):842名 国際理解が深まった割合 英語村:100%、神戸まつり:94.1% 2023年度: ①外国人留学生の活用と相互理解・共生推進のための事業 大学等との連携による協働事業 甲南女子大学連携プログラム 95名(9/26, 10/17, 11/21) 兵庫県立大学連携プログラム 6名(9/21) ②高度外国人材としての留学生向けキャリアサポート ○英語でのキャリアイベント Get Ready for a Successful Job-Hunting in Japan 75名(2/29) ○キャリアカフェ「Nada Global Village (NGV)」 NGV70-75 全3回 582名 ③防災教育 防災バスツアー45名(9/12) ④地域連携プログラム「英語村」 英語村番外編 341名(12/19, 3/7) ⑤留学生・国際交流情報の発信事業・支援者間ネットワークの体制整備 DMAT 近畿ブロック訓練 28名(11/11) 2024年度 ①国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・ファシリテーション講座 113名(6/6-7/4 全4回) ・国際交流スタッフミーティング 77名(4/10, 5/9, 23, 27, 6/14, 24, 7/17, 31)	S

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				②高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 ○外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ・シアトルアカデミー×神戸高校交流 99名 (4/8, 23) ・英語村 91名 (7/9, 8/8) ・兵庫高校研究発表会 20名 (7/9) ・神戸まつり 115名 (4/21) ○外国人留学生のキャリアサポート事業 ・留学生向け合同説明会 70名 (6/19) ・就活日本語講座・日本文化体験 53名 (7/27) ③多文化共生社会の実現を推進する事業 ・Nada Global Village NGV76-80 全5回 154名 ④情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 ・国際交流委員会、EMS 勉強会 50名 (4/22, 5/23)	
	【取組2の目標】 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定) プログラム数 10件/5年	【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。	【取組2の活動指標】 プログラム数 2件以上/年	プログラム 2023年度:2件/2024年度:2件 国際理解が深まった割合 インターナショナルバスツアー豊岡、加古川：97.2% 留学生と一緒に学ぶ日本語講座&三味線コンサート後半：100% 2023年度： ・学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学)アメリカ3名(9/8-18) ・インターナショナルバスツアー豊岡・加古川(兵庫大学)66名(10/14) 2024年度： ・学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学)ネパール3名(9/2-11)、アメリカ5名(9/13-23)、オーストラリア8名(9/9-17) ・留学生と一緒に学ぶ日本語講座&三	A

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				味線コンサート後半 (甲南女子大学) 36名(7/27)	
⑥大学教職員の 研修機会の提供 と交流の促進 FD・SD委員会	【取組1の目標】 各年セミナー数 5件以上	【取組1】 加盟校間でのFD・SDセミナーの公開 加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。 教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。	【取組1の活動指標】 参加者数100人以上/年	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開 2023年度：10校21件/1,674名 2024年度：8校7件/530名	A
	【取組2の目標】 各年参加者数 50名以上	【取組2】 FD・SD情報交換会、セミナー等の開催 加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。	【取組2の活動指標】 開催数：3回以上/年	2023年度：3回/297名 2024年度：1回/362名 2023年度実績： 「いま一度整理しよう！令和4年度大学設置基準等の改正を学ぶ！」 (2023/09/06)124名 「中退予防におけるIR」 (2024/02/20)62名 「内部質保証システムの実質化を考える～現場が動き出す！工夫と実践～」 (2024/03/11)111名 2024年度： 「IRの基礎をダイジェストで学ぶ」 (2024/6/25)214名 「大学における生成AIの活用について考える」(2024/9/4)148名	A
⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応 教育連携委員会	【取組1の目標】 各年開放科目数 10科目以上	【取組1】 単位互換事業の実施 加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。	【取組1の活動指標】 送り出し校数 5校/年	2023年度実績： 開放科目数：17校82科目 受講者：6校16名 2024年度： 開放科目数：18校128科目 受講者：11校60名(9/30現在)	A
	【取組2の目標】 各年プログラム数 5件以上	【取組2】 多様な学修機会の提供 加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する (ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等)。	【取組2の活動指標】 参加者数50人以上/年	・多様な学修機会の提供 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 2023年度：8校27講座(1377名) 2024年度：6校11講座(945名) (9/30現在)(但し、1校1講座は「加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開」と共通開講(参加者数は「加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開」)にて	A

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				報告) ・ICTを活用したコンテンツ 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」の試行運用 2023年度:9校 2024年度:10校(9/30現在)	
⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進 企画運営委員会	【取組1の目標】 各年参加者数 50名以上	【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。	【取組1の活動指標】 大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)	2023年度:2回・109名 2024年度:年度内に講演及び意見交換会を各1回実施予定 ・「リカレントフォーラム 学び直しとリカレント教育～大学開放の新しい展開～」(2024/3/1)参加者計:63名 ・ひょうご産官学連携協議会活動報告会にてリカレント教育に関する意見交換を実施(2024/3/12)参加者計:46名	A
	【取組2の目標】 各年10校以上	【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。	【取組2の活動指標】 大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)	・大学コンソーシアムひょうご神戸のHPの「リカレントフェア」サイトにて、通年で講座情報を発信 2023年度:掲載数23校42講座 2024年度:掲載数28校45講座	A
⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成 企画運営委員会	【取組1の目標】 大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充	【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。	【取組1の活動指標】 大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)	・企画運営委員会にて、兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制についての意見交換を実施 2023年度:12回開催 2024年度:月1回定期開催 ・大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の構築 「ひょうご産官学連携協議会」 2023年度:2023/10/25、2024/3/12 2024年度:2024/10/24、2025/3(予定) 「ひょうご産官学連携協議会活動報告会」(地域住民を対象に実施、意見交換を行う取組) 2023年度:2024/3/12 2024年度:2025/3(予定) 「賛助会員と加盟校の懇親会」 (2023/12/14)計111名 「盛山文部科学大臣による講演会およ	A

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				<p>び意見交換会」(2023/12/22) 計38名「企業課題解決プログラム」(加盟校の有する知見を活かし、企業・団体の課題解決策を提案する産学連携プログラム) 11社からの16課題に、加盟校7校の教員・学生が解決に向けて取り組んだ。</p> <p>HPで「意見募集サイト」開設中</p>	
	<p>【取組2の目標】 緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築</p>	<p>【取組2】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築 感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有する。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。</p>	<p>【取組2の活動指標】 大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)</p>	<p>不測の事態に備え、リスクに関する情報連絡会を開催、具体的な運用について議論 2023年度: リスクに関する情報連絡会(2023/5/25、9/14、2024/2/26) 計31名参加 2024年度: リスクに関する情報交換会を開催予定</p>	A
<p>⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備 企画運営委員会</p>	<p>【取組1の目標】 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築</p>	<p>【取組1】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進 加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。 同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。</p>	<p>【取組1の活動指標】 企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)</p>	<p>・企画運営委員会: 事業運営を円滑に推進するため、中長期計画Ⅱ期、リスクマネジメント体制、事業運営体制の整備やリカレント教育等について協議 2023年度: 実績12回開催 2024年度: 月1回定期開催 ・事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実: HPにて各事業委員会の活動や中長期計画Ⅱ期のロードマップ等を加盟校間で共有。 併せて加盟校の公開講座等の情報を随時更新中。加盟校教職員への月1回メルマガ配信や、活動案内・報告、学生による地域活性化に関する取組広報等をnoteやSNSにて実施中。</p>	A

文 書 番 号

令和6年 月 日

文部科学省高等教育局

私学部長 浅野 敦行 殿

日本私立学校振興・共済事業団

理事長 福原 紀彦 殿

学校法人 神戸学院

理事長

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業に係る調査について(回答)

令和6年7月29日付け6文科高680号及び私振補第41号による標記調査依頼にあたり、以下の(1)～(2)について確認したうえで、下記及び別紙調査票のとおり回答します。

- (1) 全ての設問への回答について、要件を確認し、別紙 回答確認書を作成して提出します。
- (2) 回答内容の根拠となる資料を大学等で整備・保管しています。

法人番号	281009
学校法人名	神戸学院

		タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4
学校コード	A01	▼	▼	▼	▼
学 校 名	神戸学院大学				
学校コード		▼	▼	▼	▼
学 校 名	学校コードを入力してください				
学校コード		▼	▼	▼	▼
学 校 名	学校コードを入力してください				
学校コード		▼	▼	▼	▼
学 校 名	学校コードを入力してください				
学校コード		▼	▼	▼	▼
学 校 名	学校コードを入力してください				
学校コード		▼	▼	▼	▼
学 校 名	学校コードを入力してください				

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281009	A01	神戸学院	神戸学院大学

各設問について、選択肢から該当するものを一つ選び、回答欄のプルダウン（▼）から選択肢の番号を選択してください。

【基礎要件】プラットフォーム構築に必要な体制の整備			
基礎要件	プラットフォーム構築に必要な体制を整備している。	回答	結果
1	整備している。	1	申請できます
2	整備していない。		
1. 推進体制の構築			
①	プラットフォームにおける協議体制の運営支援及びプラットフォームの中長期計画の実施を推進するため、基礎要件の意思決定体制や定期的な協議の実績とは別に、企画立案、連絡調整、進捗管理などを行う事務局体制を整備していますか。	回答	得点
1	複数の組織の構成員からなる常設の事務局を整備している。または、複数の組織の構成員からなる委員会形式の事務局（月1回以上の開催）を整備している。	1	2
2	単独の組織の構成員からなる常設の事務局を整備している。または、複数の組織の構成員からなる委員会形式の事務局（月1回未満の開催）を整備している。		
3	整備していない。		
②	プラットフォーム参画大学等と、地方自治体との間で包括連携協定等を締結し、協議体制を構築していますか。	回答	得点
1	包括連携協定等を締結しており、地方自治体の長が定期的に参加する協議体制を構築している。	2	2
2	包括連携協定等を締結しており、地方自治体の担当者が年4回以上定期的に参加する協議体制を構築している。		
3	上記に該当しない。		
③	プラットフォーム参画大学等と、産業界等の間で包括連携協定等を締結し、協議体制を構築していますか。	回答	得点
1	包括連携協定等を締結しており、年4回以上定期的に参加する協議体制を構築している。	2	1
2	包括連携協定等を締結しており、年2回以上定期的に参加する協議体制を構築している。		
3	上記に該当しない。		
④	地方自治体から、プラットフォームの運営に対する支援がありますか。	回答	得点
1	プラットフォームの運営そのものに対する支援及び個別の取組に対する支援の両方がある。	3	1
2	プラットフォームの運営そのものに対する支援がある。		
3	プラットフォームが実施する個別の取組に対する支援がある。		
4	支援がない。		

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281009	A01	神戸学院	神戸学院大学

⑤	産業界等から、プラットフォームの運営に対する支援がありますか。	回答	得点
1	プラットフォームの運営そのものに対する支援及び個別の取組に対する支援の両方がある。	3点	1 3
2	プラットフォームの運営そのものに対する支援がある。	2点	
3	プラットフォームが実施する個別の取組に対する支援がある。	1点	
4	支援がない。	0点	

2. 中長期的な計画

⑥	活性化対象地域における高等教育の各種の課題に対して、具体的な数値で設定された活動指標及び取組全体に係る成果としてのアウトカム指標を設定し、達成状況等を踏まえ検証及び取組の改善を行っていますか。	回答	得点
1	10種類以上の活動指標と、2種類以上のアウトカム指標を設定し、達成状況等を踏まえ検証・改善を行っている。	2点	1 2
2	5～9種類の活動指標と、2種類以上のアウトカム指標を設定し、達成状況等を踏まえ検証・改善を行っている。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	

⑦	プラットフォームにおいて、活性化対象地域における高等教育のグランドデザインについて継続的な議論を行っていますか。	回答	得点
1	実施し、議論の取りまとめ等を一般に公表している。	2点	1 2
2	実施している。	1点	
3	実施していない。	0点	

⑧	プラットフォームの活動等について、幅広い地域社会の意見を反映させるため、地域住民等からの意見募集等、地域の声を把握する取組を実施していますか。	回答	得点
1	実施している。	1点	1 1
2	実施していない。	0点	

3. 個別取組

⑨	プラットフォームにおいて、活性化対象地域におけるリスクマネジメント体制を構築していますか。	回答	得点
1	構築している。	3点	1 3
2	構築していない。	0点	

⑩	プラットフォームにおいて、プラットフォーム間の共同研究の活性化に向けた議論及び共同研究を実施していますか。	回答	得点
1	議論及び共同研究を実施している。	2点	1 2
2	共同研究は実施していないが、議論は実施している。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281009	A01	神戸学院	神戸学院大学

⑪	プラットフォームにおいて、活性化対象地域の教育支援活動を行っていますか。	回答	得点
1	半数以上の大学等が取組を実施した。	1点	1 1
2	該当しない。	0点	
⑫	プラットフォームにおいて、共同の公開講座を実施しましたか。	回答	得点
1	10講座以上実施した。	2点	1 2
2	5～9講座実施した。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	
⑬	プラットフォームにおいて、社会人を対象としたキャリア形成等を目的とする共同プログラムを、産業界等と共同で企画し、複数のプラットフォーム参画大学等で実施していますか。	回答	得点
1	実施した。	1点	1 1
2	該当しない。	0点	
⑭	プラットフォームにおいて、活性化対象地域への就職を促進するための、地方自治体又は産業界等との共同の取組について企画又は実施していますか。	回答	得点
1	プラットフォーム参画大学等の7割以上の大学等が実施した。	2点	1 2
2	上記には当てはまらないが実施又は企画している。	1点	
3	企画・実施いずれもしていない。	0点	
⑮	プラットフォーム参画大学等において共同でIRを実施し、結果を地方自治体及び産業界等と共有及び改善の協議等を行っていますか。	回答	得点
1	共同でIRを実施し、結果を地方自治体及び産業界等と共有及び改善の協議等を行っている。	2点	1 2
2	共同でIRを実施している。	1点	
3	実施していない。	0点	
⑯	プラットフォームにおいて、共同のFD又はSDを実施し、公表していますか。	回答	得点
1	FD又はSDを複数回実施し、その内容を公表している。	2点	1 2
2	FD又はSDを複数回実施した。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281009	A01	神戸学院	神戸学院大学

⑰	プラットフォームにおいて、教職員の人事交流を企画又は実施していますか。		回答	得点
1	地方自治体又は産業界等と大学等の間、及びプラットフォーム参画大学等の間で企画又は実施している。	4点	1	4
2	地方自治体又は産業界等と大学等の間で企画又は実施している。	2点		
3	プラットフォーム参画大学等間で企画又は実施している。	1点		
4	上記のいずれにも該当しない。	0点		
⑱	プラットフォーム参画大学等で施設・設備を共同で利用していますか。		回答	得点
1	複数の施設・設備を共同利用している。	2点	1	2
2	共同利用している。	1点		
3	上記のいずれにも該当しない。	0点		
⑲	プラットフォーム参画大学等において、以下の学生募集活動等に係る取組を行っていますか。 ア 共同で高等学校、高校生、又はその保護者へのニーズ調査を実施している。 イ 共同の説明会又は高等学校訪問、及び共通のホームページ、パンフレット等による広報活動を行っている。 ウ 外国人留学生対象の合同大学説明会、もしくは合同による外国人留学生選抜試験を実施している。 エ 地域枠の奨学基金の設定等、地域における学生の就学を経済的に支援する取組を行っている。		回答	得点
1	4つ実施している。	4点	3	2
2	3つ実施している。	3点		
3	2つ実施している。	2点		
4	上記のいずれにも該当しない。	0点		
⑳	プラットフォーム参画大学等の間で、授業科目を共同で開発し、開講していますか。		回答	得点
1	開講している。	2点	1	2
2	開講していない。	0点		
㉑	プラットフォーム参画大学等の間で、単位互換等の授業科目についてプラットフォーム大学等間共通のシラバスを作成していますか。		回答	得点
1	作成している。	2点	1	2
2	作成していない。	0点		

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281009	A01	神戸学院	神戸学院大学

⑫	プラットフォーム参画大学等間で共同利用するeラーニングシステムを導入していますか。	回答	得点
1	導入している。	2点	1
2	導入していない。	0点	
			2

根拠資料・要件確認	回答	合計点
すべての設問について、要件を確認し、根拠資料を整備しましたか。	確認済	43点

調査票取りまとめ担当者		
所属部課名	氏名	電話番号
	フリガナ	

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業プラットフォーム参画団体等一覧
【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型）】

1. プラットフォームの名称

・共通設問調査票で設定したプラットフォーム名を入力してください。

ひょうご産官学連携協議会

2. 活性化の対象として設定する「活性化対象地域」

- ・「活性化対象地域」として設定した、都道府県名や市区町村名を記入してください。
- ・市区町村名の場合は、そのあとに()をつけて都道府県名を記入してください。
- ・設定した「活性化対象地域」に応じて、都市型・地方型のいずれかを選択してください。

市区町村	①市区町村名（都道府県）	②市区町村名（都道府県）	③市区町村名（都道府県）	④市区町村名（都道府県）
	⑤市区町村名（都道府県）	⑥市区町村名（都道府県）	⑦市区町村名（都道府県）	⑧市区町村名（都道府県）
	⑨市区町村名（都道府県）	⑩市区町村名（都道府県）	⑪市区町村名（都道府県）	⑫市区町村名（都道府県）
	⑬市区町村名（都道府県）	⑭市区町村名（都道府県）	⑮市区町村名（都道府県）	⑯市区町村名（都道府県）
	⑰市区町村名（都道府県）	⑱市区町村名（都道府県）	⑲市区町村名（都道府県）	⑳市区町村名（都道府県）
	㉑市区町村名（都道府県）	㉒市区町村名（都道府県）	㉓市区町村名（都道府県）	㉔市区町村名（都道府県）
	㉕市区町村名（都道府県）	㉖市区町村名（都道府県）	㉗市区町村名（都道府県）	㉘市区町村名（都道府県）
	㉙市区町村名（都道府県）	㉚市区町村名（都道府県）	㉛市区町村名（都道府県）	㉜市区町村名（都道府県）
㉝市区町村名（都道府県）	㉞市区町村名（都道府県）	㉟市区町村名（都道府県）	㊱市区町村名（都道府県）	
㊲市区町村名（都道府県）	㊳市区町村名（都道府県）	㊴市区町村名（都道府県）	㊵市区町村名（都道府県）	
㊶市区町村名（都道府県）	㊷市区町村名（都道府県）	㊸市区町村名（都道府県）	㊹市区町村名（都道府県）	
㊺市区町村名（都道府県）	㊻市区町村名（都道府県）	㊼市区町村名（都道府県）	㊽市区町村名（都道府県）	
都道府県	①都道府県名	②都道府県名	③都道府県名	④都道府県名
	兵庫県			
	⑤都道府県名	⑥都道府県名	⑦都道府県名	⑧都道府県名
	⑨都道府県名	⑩都道府県名	⑪都道府県名	⑫都道府県名
	⑬都道府県名	⑭都道府県名	⑮都道府県名	⑯都道府県名

(都市型・地方型の区分)

都市型

3. プラットフォーム参画大学等一覧
【私立】

	①学校番号		②私立大学等名称 (正式名称)	③地域内のキャンパス名 *複数ある場合は一つ記入 *キャンパスが分かれていない場合は「本部」と記入 *活性化対象地域内にキャンパス等がない場合は空欄	④③のキャンパス所在地 (都道府県・市区町村名)	⑤活性化対象地域内か	⑥PF型申請
	法人番号	学校コード					
1	281001	A01	芦屋大学	本部	兵庫県芦屋市	○	▼
2	271012	A01	大手前大学	さくら夙川キャンパス	兵庫県西宮市	○	○
3	271012	B01	大手前短期大学	本部	兵庫県西宮市	○	○
4	281021	A01	関西国際大学	三木キャンパス	兵庫県三木市	○	○
5	271032	A01	関西福祉大学	本部	兵庫県赤穂市	○	▼
6	281004	A01	関西学院大学	西宮上ヶ原キャンパス	兵庫県西宮市	○	○
7	281004	B01	関西学院短期大学	本部	兵庫県西宮市	○	▼
8	281006	A01	甲南大学	岡本キャンパス	兵庫県神戸市東灘区	○	○
9	281007	A01	甲南女子大学	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	▼
10	401004	A03	神戸医療未来大学	姫路キャンパス	兵庫県福崎町	○	▼
11	281003	A01	神戸海星女子学院大学	本部	兵庫県神戸市灘区	○	▼
12	281009	A01	神戸学院大学	ポートアイランドキャンパス	兵庫県神戸市中央区	○	○
13	271022	A02	神戸芸術工科大学	本部	兵庫県神戸市西区	○	▼
14	281016	A01	神戸国際大学	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	○
15	281011	A01	神戸松蔭女子学院大学	本部	兵庫県神戸市灘区	○	○
16	281008	A01	神戸女学院大学	本部	兵庫県西宮市	○	▼
17	281017	A01	神戸女子大学	須磨キャンパス	兵庫県神戸市須磨区	○	○
18	281017	B01	神戸女子短期大学	本部	兵庫県神戸市中央区	○	○
19	281012	A01	神戸親和大学	本部	兵庫県神戸市北区	○	○
20	281031	A01	神戸常盤大学	本部	兵庫県神戸市長田区	○	○
21	281010	A01	神戸薬科大学	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	▼
22	282004	B01	頌栄短期大学	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	▼
23	281014	A01	園田学園女子大学	本部	兵庫県尼崎市	○	▼
24	281014	B01	園田学園女子大学短期大学部	本部	兵庫県尼崎市	○	▼
25	271053	A01	宝塚医療大学	本部	兵庫県宝塚市	○	▼
26	281029	A01	姫路大学	本部	兵庫県姫路市	○	▼
27	281020	A01	兵庫大学	本部	兵庫県加古川市	○	○
28	281020	B01	兵庫大学短期大学部	本部	兵庫県加古川市	○	▼
29	281019	A01	流通科学大学	本部	兵庫県神戸市西区	○	○
30		▼				▼	▼
31		▼				▼	▼
32		▼				▼	▼
33		▼				▼	▼
34		▼				▼	▼
35		▼				▼	▼
36		▼				▼	▼
37		▼				▼	▼
38		▼				▼	▼
39		▼				▼	▼
40		▼				▼	▼

【私立】（続き）

	①学校番号		②私立大学等名称 (正式名称)	③地域内のキャンパス名 *複数ある場合は一つ記入 *キャンパスが分かれていない場合は「本部」と記入 *活性化対象地域内にキャンパス等がない場合は空欄	④③のキャンパス所在地 (都道府県・市区町村名)	⑤活性化対象地域内か	⑥PF型申請
	法人番号	学校コード					
41		▼				▼	▼
42		▼				▼	▼
43		▼				▼	▼
44		▼				▼	▼
45		▼				▼	▼
46		▼				▼	▼
47		▼				▼	▼
48		▼				▼	▼
49		▼				▼	▼
50		▼				▼	▼
51		▼				▼	▼
52		▼				▼	▼
53		▼				▼	▼
54		▼				▼	▼
55		▼				▼	▼
私立大学等合計			(イ) 29			(ロ) 29	(ハ) 14

【国立・公立】

	①区分		②国公立大学等名称 (正式名称)	③地域内のキャンパス名 *複数ある場合は一つ記入 *キャンパスが分かれていない場合は「本部」と記入 *活性化対象地域内にキャンパス等がない場合は空欄	④③のキャンパス所在地 (都道府県・市区町村名)	⑤活性化対象地域内か
	国公区分	学校種				
1	国立	高専	独立行政法人国立高等専門学校機構明石工業高等専門学校	本部	兵庫県明石市	○
2	国立	大学	国立大学法人神戸大学	六甲第1キャンパス	兵庫県神戸市灘区	○
3	国立	大学	国立大学法人兵庫教育大学	加東キャンパス	兵庫県加東市	○
4	公立	大学	神戸市公立大学法人神戸市外国語大学	本部	兵庫県神戸市西区	○
5	公立	大学	公立大学法人神戸市看護大学	本部	兵庫県神戸市西区	○
6	公立	大学	兵庫県公立大学法人兵庫県立大学	神戸商科キャンパス	兵庫県神戸市西区	○
7	公立	大学	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学	本部	兵庫県豊岡市	○
8	▼	▼				▼
9	▼	▼				▼
10	▼	▼				▼
11	▼	▼				▼
12	▼	▼				▼
13	▼	▼				▼
14	▼	▼				▼
15	▼	▼				▼
国公立大学等合計			(二)			(ホ)
			7			7

プラットフォーム参画大学等数	(イ) + (ニ)	(ヘ)	
		36	
地域内にキャンパス等がある大学等数	(ロ) + (ホ)	(ト)	地域内割合 (チ) = (ト) / (ヘ)
		36	※少なくとも50%超
			100.00%

4. プラットフォームに参画する地方自治体

	①地方自治体名 ※市区町村単位の場合には、() で都道府県を付記	②活性化対象 地域内か
1	兵庫県	○
2		▼
3		▼
4		▼
5		▼
6		▼
7		▼
8		▼
9		▼
10		▼
11		▼
12		▼
13		▼
14		▼
15		▼
16		▼
17		▼
18		▼
19		▼
20		▼

5. プラットフォームに参画する産業界等

	①産業界等名 (企業等の支部・支店含む。その場合は支部支店名も含めて記入)	②所在地 (都道府県・市区町村名)	③活性化対象 地域内か
1	兵庫県中小企業家同友会	兵庫県神戸市中央区	○
2	兵庫県商工会連合会	兵庫県神戸市中央区	○
3	兵庫県中小企業団体中央会	兵庫県神戸市中央区	○
4			▼
5			▼
6			▼
7			▼
8			▼
9			▼
10			▼
11			▼
12			▼
13			▼
14			▼
15			▼

作成担当者 学校名・所属・氏名	電話番号

令和6年度 私立大学等改革総合支援事業に係る地方自治体からの意見書
【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

※「プラットフォーム名称」については、申請取りまとめ校にて記載ください。

本意見書は、私立大学等改革総合支援事業（タイプ3（プラットフォーム型））を申請するにあたり必要な書類であり、上記プラットフォームに参画している地方自治体からの意見を聴取させていただきます。なお、本意見書の内容を、選定の際に考慮する場合があります。

以下の各設問に記載ください。

1. 当該プラットフォームと貴地方自治体との関わりについて（令和5年9月1日～令和6年9月30日の実績）		
該当の有無	項目	具体的内容（可能な場合は定量的な記載としてください）
○	協議体制の整備	①R5/10/25第2回ひょうご産官学連携協議会総会でタイプ3PF申請審議、リスクに関する情報連絡会等について報告 ②R6/3/12第3回ひょうご産官学連携協議会総会で来年度事業計画審議、タイプ3申請結果、本年度活動報告 ③毎月定例開催の企画運営委員会（兼）兵庫県との定例会でプラットフォームの運営、リカレント教育等協議
○	包括連携協定等の締結	H29/9/1、R3/9/1、R5/9/15、R6/9/11「私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）」に関する包括連携協定の一部を変更する協定を締結（変更理由：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の変更）
	資金支援	
	人員派遣	
	人事交流	
○	事業・プロジェクトの共同運営	①令和6年度外国人留学生採用ワンストップ支援事業（R6年度委託料：6291千円） ②令和6年度大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進事業（R6年度委託料：4633千円） ③令和6年度リカレント教育推進事業（R6年度委託料：500千円）④若者による「震災の教訓を繋ぐプロジェクト」（14500千円）
	公開講座等	
2. 貴地方自治体からの当該プラットフォームへの評価		
選択	項目	
A	A	地域の振興に大きく役立っている。
	B	地域の振興に役立っている。
	C	地域の振興に今後役立つことが期待できる。
	D	地域の振興にあまり役立っていない。
上記を選択した理由【自由記述】		
<p>①当該プラットフォームは、地域の活性化等の連携事業の実施に向け、県内の7割を超える大学・短期大学等が参画している「（一社）大学コンソーシアムひょうご神戸」が中核となり、本県や産業界と協議し取り組むなど、効率的な運営体制が確立している。</p> <p>②本県では、20歳代前半の人口流出が拡大傾向にあり、大学生の就職時点の流出抑制が課題となっている。このため、産業界も加入している当該プラットフォームは、県内企業就職率向上のための事業や県内企業情報の発信など、地元定着のための就職支援事業に取り組むなど、地域の振興に寄与している。事業計画の策定や推進にあたっては、毎月開催される企画運営委員会に県担当者が出席するなど県と緊密に連携を図っている。</p> <p>③また、令和2年度から（一社）大学コンソーシアムひょうご神戸を中核とする当該プラットフォームのネットワークを活用し、リカレントフォーラムを開催するなどリカレント教育に対する気運醸成に貢献している。</p> <p>④複数大学等の連携によるメリットを生かし、留学生と日本人学生の交流事業を実施し、国際的な視野の育成と将来の人的ネットワークの形成による地域産業等のグローバル化の推進にも貢献している。</p> <p>⑤さらに、令和5年度からは、県と連携し、外国人留学生・企業からの就職・採用相談窓口の設置や企業向け留学生採用・人材活用セミナーを実施するなど、人材不足解消に向けた外国人留学生の県内定着にも取り組んでいる。</p>		
3. 今後、貴地方自治体が当該プラットフォームに期待する役割【自由記述】		
<p>①当該プラットフォームに参画する各大学が、大学と産業界との連携や大学の垣根を越えた学びの環境の充実を図り、各々の大学の強みや特色を更に強化され、本県の高等教育の総合力や魅力を高めて欲しい。</p> <p>②当該プラットフォームの取組を通じて、多くの学生が本県の魅力、ふるさと意識、地域への誇り・愛着等を醸成し、卒業生・留学生が本県の地域産業の担い手となるなど、地域振興への更なる貢献を期待する。</p>		

地方自治体の方

ご担当者		
所 属	電 話 番 号	氏 名
兵庫県総務部教育課	078-362-3368	太田 稔

大学コンソーシアムひょうご神戸

令和6年度 学生生活に関する意識調査

報告書

1. 目的
2. 概要
3. 結果
4. まとめ

令和6年（2024年）7月

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

1. 目的

学生の興味関心を測り、大学コンソーシアムひょうご神戸の加盟校等が結果を共有し、加盟校等の教育改革や教育改善に生かすために実施。集計結果は、ひょうご産官学連携協議会にて報告し、今後の各加盟校における教育改革や教育改善に生かす。

2. 概要

(1) 調査対象者

加盟校 36 校の学生（学年は問わない）

(2) 回答方法

PC、タブレット、スマートフォン等を使い、URL (<https://qr.paps.jp/w83ym>)、もしくは二次元コードから、回答フォーム（Google Forms）にアクセスして回答。回答者を特定できないように氏名の記入欄は設けず、また個人のメールアドレスの収集も行わない。

(3) 実施期間

5月28日（火）～7月5日（金）

(4) 実施主体

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

(5) 内容

質問は、学生生活に期待することや、大学コンソーシアムひょうご神戸でやりたいこと、就職に関すること、単位互換制度についてなど計 27 問。所要時間は約 10 分

3. 結果

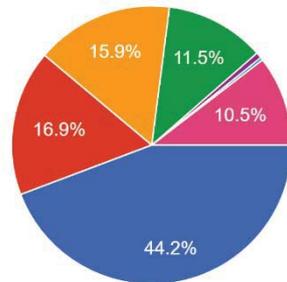
大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 28 校の学生計 1506 人が回答

回答校一覧（28 校）

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸医療未来大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸薬科大学、兵庫大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学、流通科学大学

1 あなたは、何年生ですか

1,506 件の回答

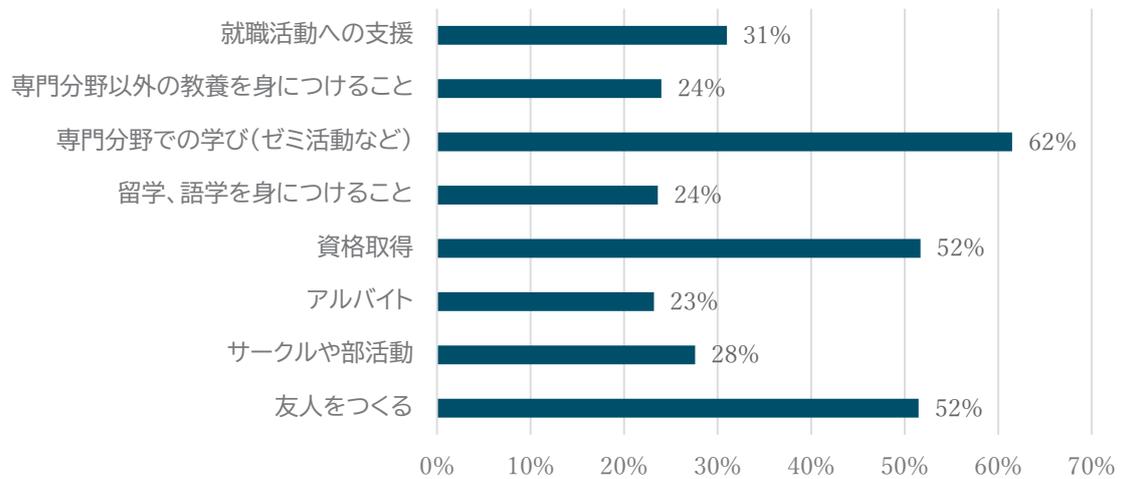


2 通っている学校名を教えてください

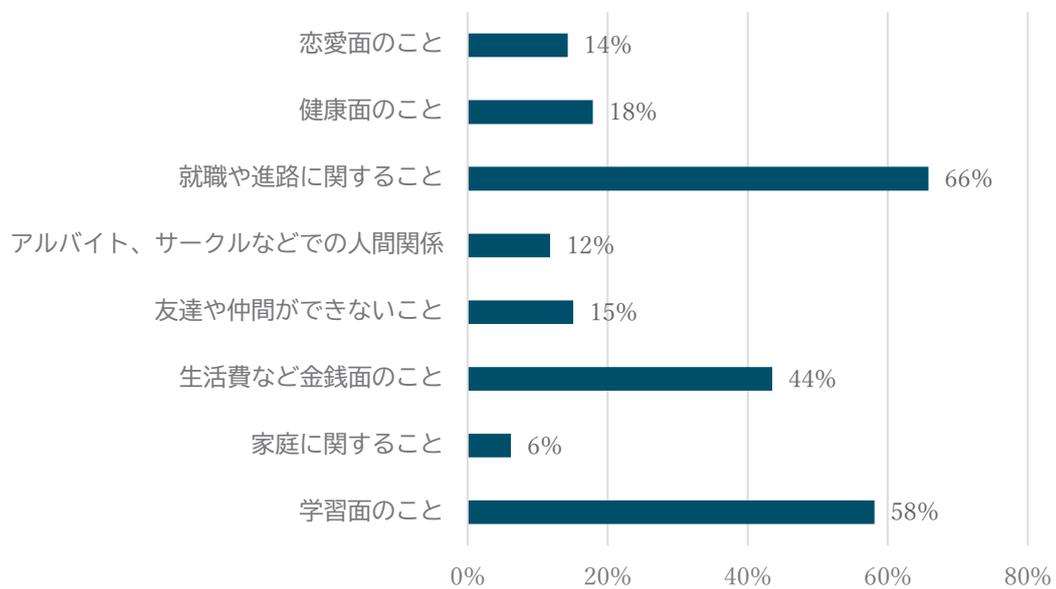
	学校名	回答数
1	神戸学院大学	155
2	神戸大学	147
3	関西国際大学	125
4	神戸常盤大学	103
5	甲南大学	99
6	神戸親和大学	99
7	兵庫教育大学	92
8	兵庫県立大学	91
9	神戸女学院大学	76
10	関西学院大学	68
11	神戸国際大学	57
12	神戸市外国語大学	47
13	芸術文化観光専門職大学	47
14	神戸薬科大学	43
15	大手前大学	40
16	流通科学大学	39
17	神戸女子大学	38
18	大手前短期大学	38
19	神戸市看護大学	23

	学校名	回答数
20	神戸松蔭女子学院大学	23
21	神戸医療未来大学	21
22	神戸芸術工科大学	15
23	甲南女子大学	11
24	兵庫大学	3
25	神戸女子短期大学	2
26	関西福祉大学	2
27	明石工業高等専門学校	1
28	芦屋大学	1

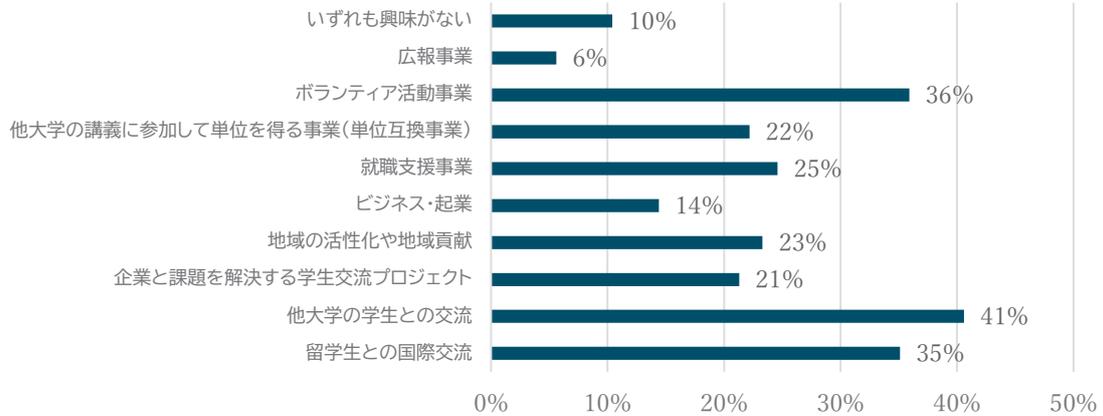
3 あなたが大学生生活で期待することは何ですか。3つまで選んでください



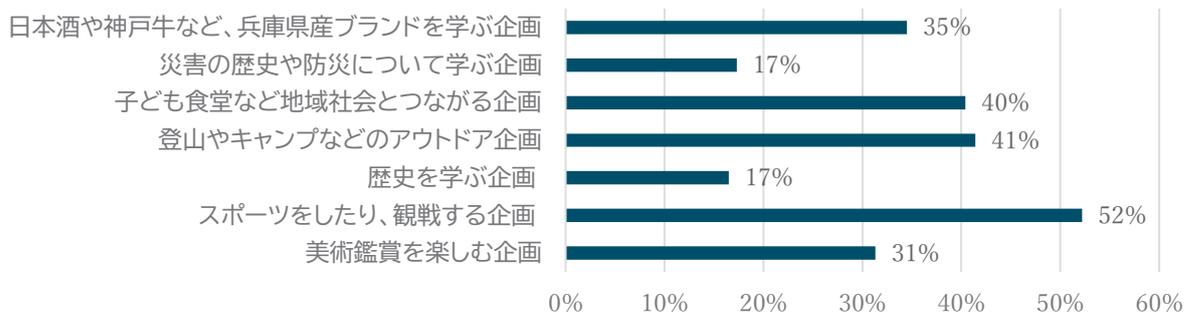
4 大学生活での悩みや困っていることは何ですか。3つまで選んでください



5 「大学コンソ」は、あなたも参加できるイベントを主催しています。
あなたが興味があるものを3つまで選んでください



6 他大学の学生や、外国人留学生と交流を深めるなら、どんな企画がいいですか。
興味があるものを3つまで選んでください



7 問6の回答以外に、どんなイベントなら参加したいですか？自由にお書きください。

198 件の回答

「他大学の学生や外国人留学生と一緒に〇〇したい」で、〇〇に入るものが以下。

- ・43 文化交流
- ・36 学び（ディスカッション、グループワーク、発表）
- ・31 食（カフェ運営、お菓子パーティー、バーベキュー）
- ・18 スポーツ、アウトドア（登山、サッカー、キャンプ）
- ・15 旅（観光地巡り）
- ・10 ゲーム（ボードゲーム、ビデオゲーム）
- ・8 ボランティア（ゴミ拾い、マラソンの沿道ボランティア）
- ・5 音楽（吹奏楽合同演奏会）
- ・3 演劇（共に劇を作り、上演）
- ・3 映画（映画鑑賞会）
- ・1 ビジネス(創業)

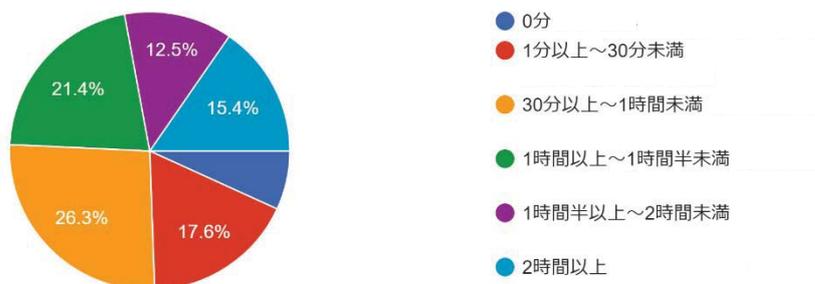
文化交流は、外国人留学生を対象にしており、真面目で抽象的な回答が多かった。

食に関するものは、「アフタヌーンティーをしながら英会話」「一緒に料理」と、食+文化交流の要素での具体的な回答が多かった。スポーツも同様に、「A sport events such as marathons, football match, volleyball or table tennis」と、スポーツをきっかけに、交流を深めたい思いが強い。

なお、カテゴリー分けできないものとして、「自分史を発表する企画」「天体観測」「シャボン玉を飛ばして道行く人を笑顔にする」「恋愛に関するイベント」などユニークな企画もあった。

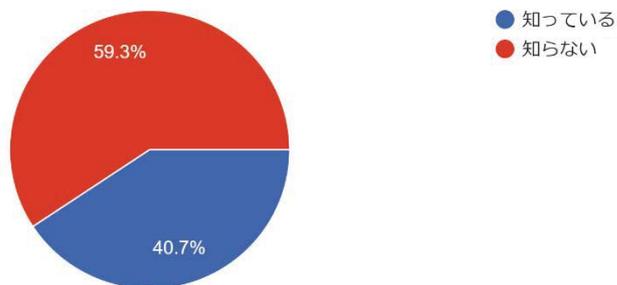
8 一日のうち、授業以外で勉強している時間を教えてください

1,506 件の回答



9 他大学の講義を履修でき、単位認定もされる「単位互換制度」を知っていますか

1,506 件の回答



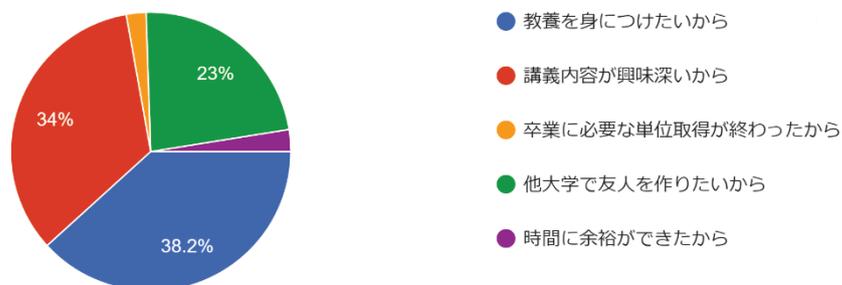
10 「単位互換制度」で他大学の講義を受けてみたいですか

1,506 件の回答



11 問10で「受けてみたい」と答えた人にお聞きします。それはなぜですか？

748 件の回答



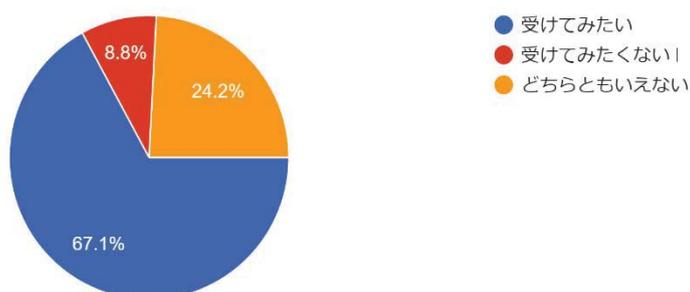
12 問10で「受けてみたくない」「どちらともいえない」と答えた人にお聞きします。
それはなぜですか？

700件の回答



13 「単位互換制度」が、移動のないオンライン授業や、時間に縛られないオンデマンド授業なら受けてみたいですか

1,506件の回答



14 どんな「単位互換制度」の講義なら、受けてみたいですか。自由にお書きください。

344件の回答があり、具体的な講義内容を書いている172件を分析したところ、

- ・社会科学（経済学、心理学、マーケティング）79件
- ・人文学（哲学、歴史、文学）57件
- ・科学（気象学、物理、天文学）21件
- ・情報学（R言語、コード、AI）8件
- ・医歯薬学（スポーツ生理学、創薬）6件
- ・人文学/社会科学（ジェンダー論）1件

という結果になった。

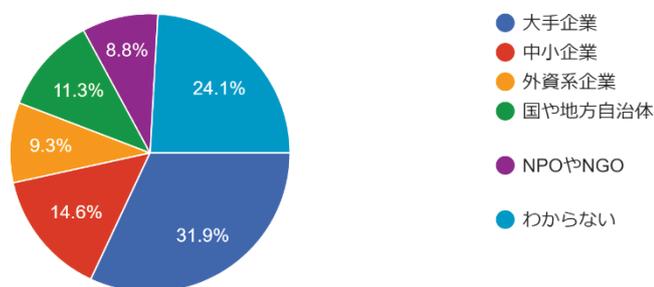
自由意見の中には、受けてみたい講義のイメージを書いたものも多かった。

- ・ディスカッションの授業

- ・長期休暇や土日にオンラインで受けたい
- ・文系の人が理系科目、理系の人が文系科目を学べるようなもの
- ・その大学ならではの授業
- ・同じ将来を目指す人とつながる講義
- ・専攻する学部の専門科目を他校で受けてみたい

15 大学時代にインターンシップをするなら、どんな企業、団体を選びたいですか。1つだけ選んでください。

1,506 件の回答



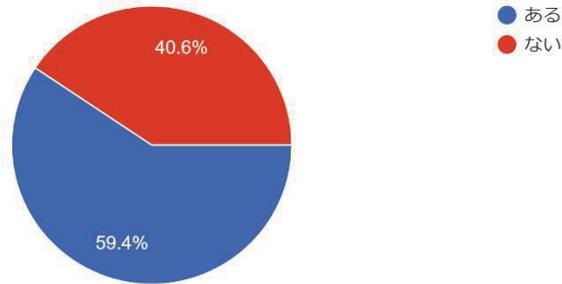
16 就職先として希望する地域はありますか。1つだけ選んでください

1,506 件の回答

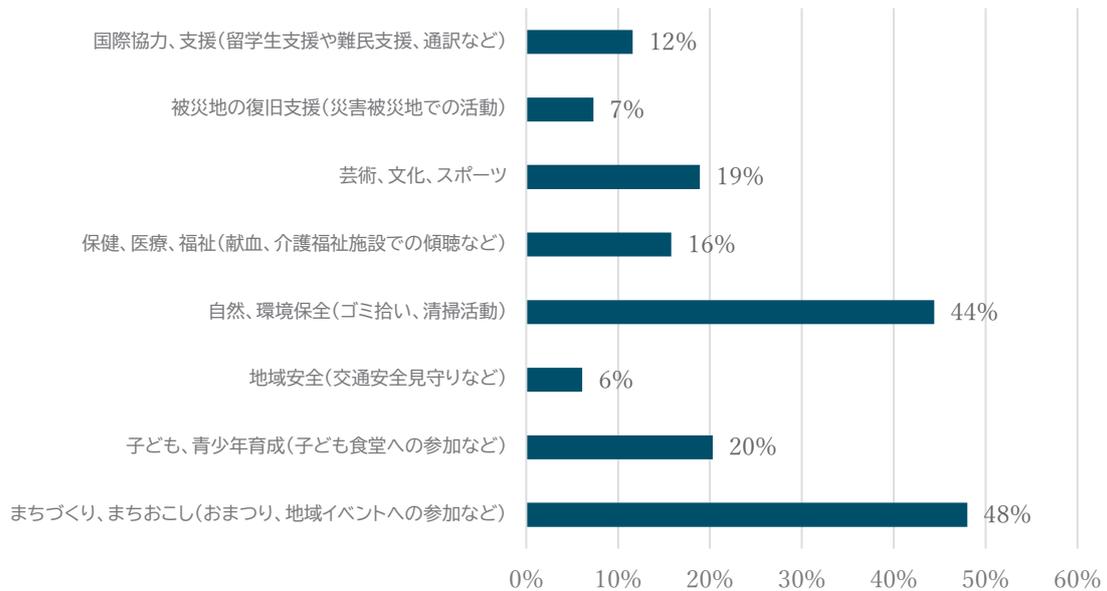


17 ボランティア活動をしたことがありますか

1,506 件の回答



18 問17で、「ボランティア活動をしたことがある」と答えた人にお聞きします。どんなボランティア活動ですか。あてはまるものをすべて選んでください

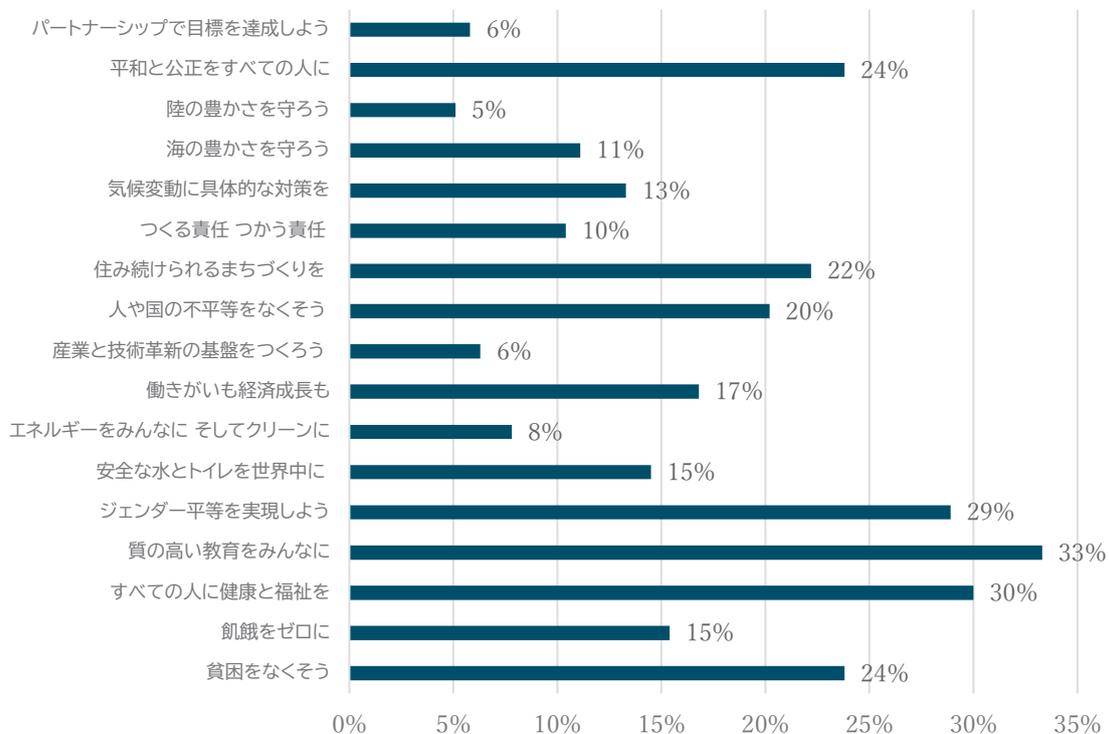


19 問 17で「ボランティア活動をしたことがある」と答えた人にお聞きます。ボランティア活動の頻度について教えてください

895 件の回答

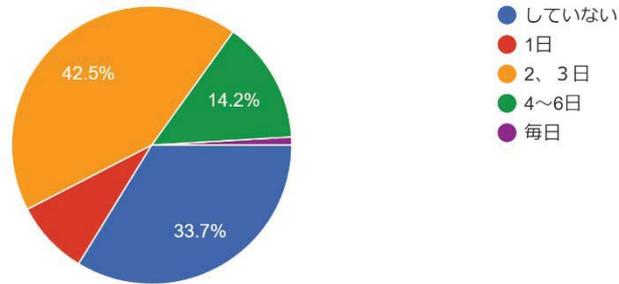


20 2030年をめどにした、国連が掲げるSDGs（持続可能な世界を作るための達成目標）には17項目があります。あなたが関心ある項目を3つまで選んでください



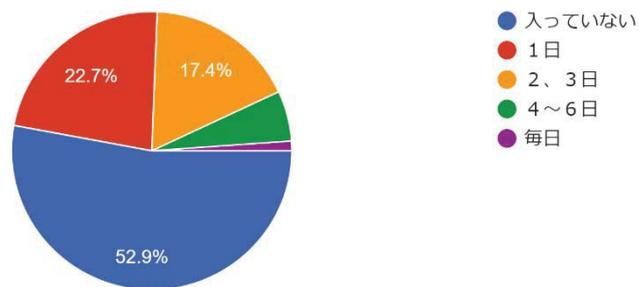
21 アルバイトは、週に何日勤務していますか

1,506 件の回答

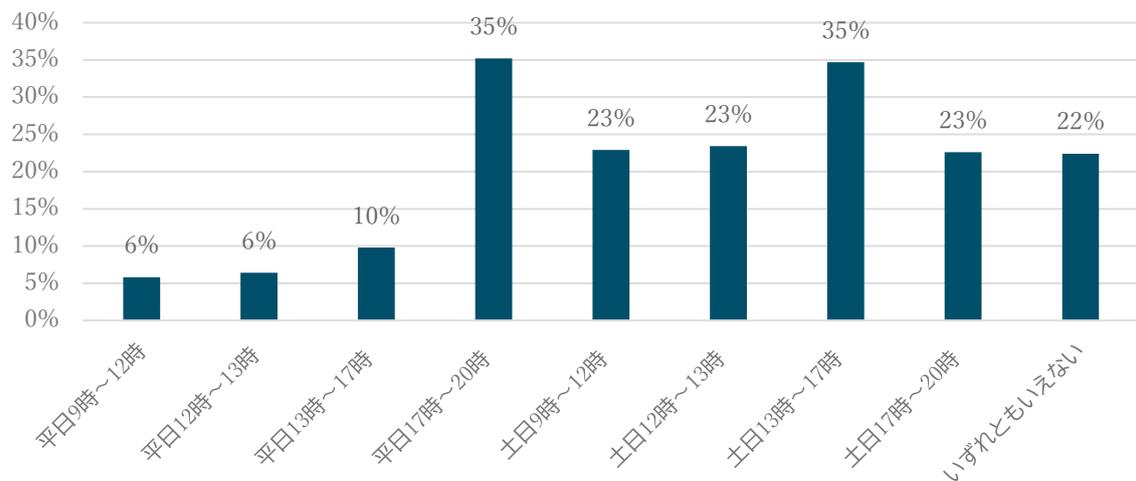


22 部活動、クラブ活動、サークルは、週に何日活動していますか

1,506 件の回答

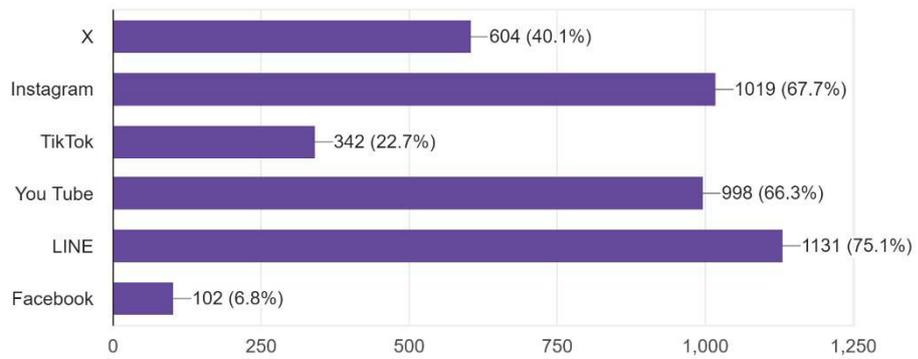


23 授業以外の時間、学内外のイベントに参加しやすい時間帯はいつですか。3つまで選んでください



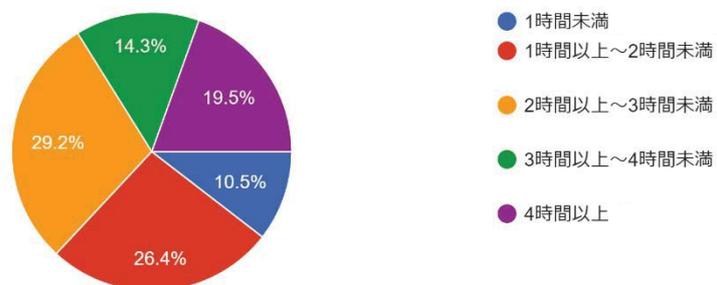
24 よく利用するSNSを3つまで教えてください

1,506 件の回答



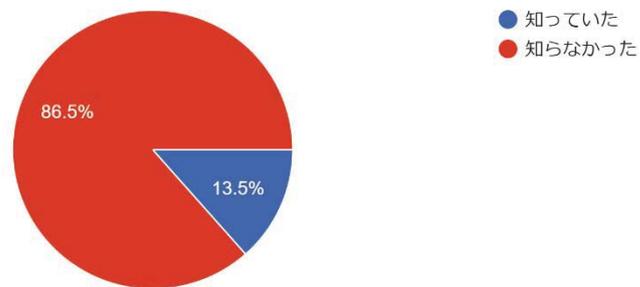
25 一日のうち、SNSを利用している時間を教えてください

1,506 件の回答

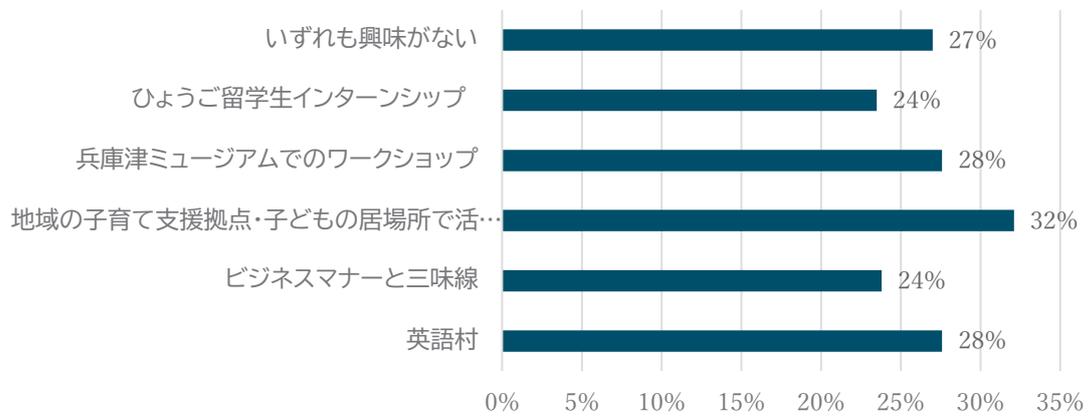


26 アンケートに回答する前、大学コンソという組織を知っていましたか

1,506 件の回答



27 大学コンソが7月から9月にかけて主催する下記イベントで
興味があるものはありますか？
興味があるものを3つまで選んでください



4. 調査のまとめ

回答のあった 1506 人のうち、1~4 年生で 88.5%を占めた。

「学生生活全般」「大学コンソーシアムひょうご神戸」「勉学」「就職」「SDGs への関心」「SNS」などについて尋ねている。

問3 大学生生活で期待すること（複数回答）は、

「専門分野での学び（ゼミ活動など）」(61.5%)

「資格取得」(51.7%)

「友人をつくる」(51.5%)

資格取得が高い。実学志向の強まりが感じられる。

問4 悩みや困っていること（複数回答）は、

「就職や進路に関すること」(65.8%)

「学習面のこと」(58.1%)

「生活費など金銭面のこと」(43.5%)

金銭面のことが3位に入った。経済的困窮を訴える学生に対する支援が求められる。

問5 興味があるイベント（複数回答）は、

「他大学の学生との交流」(40.6%)

「ボランティア活動事業」(35.9%)

「留学生との国際交流」(35.1%)

若い世代は、ボランティアへの参加が当たり前になっており、抵抗がない。

問6 他大学の学生や外国人留学生と交流を深めるなら（複数回答）は、

「スポーツをしたり、観戦したりする」(52.2%)

「登山やキャンプなどのアウトドア」(41.4%)

「子ども食堂など地域社会とつながる企画」(40.4%)

アイデアを募った自由記述には、198人から回答があった。

スポーツでの一体感を楽しむことや、アウトドアが人気。地域とのつながりも上位。

問8 授業を除いた1日の学習時間は、

「30分~1時間未満」(26.3%)

「1時間以上~1時間半未満」(21.4%)

「1分以上~30分未満」(17.6%)

「2時間以上」(15.4%)

「1時間半以上~2時間未満」(12.5%)

「0分」(6.8%)。

30分以上～1時間、1時間以上～1時間半未満の2つで約半数を占めた。

問9 単位互換制度は、

「知らない」(59.3%)

「知っている」(40.7%)

「知らない」が「知っている」を上回った。周知に課題が残る。

問10、11、12、13 単位互換制度を「受けてみたい」は(48.1%)

理由は、「教養を身につけたいから」(38.2%)がトップ。

「どちらでもない」(42.2%)、「受けたくない」(9.7%)の理由は、

「他大学への移動が大変だから」(53.4%)がトップ。

一方で、「オンラインやオンデマンドであれば、受けてみたい」(67.1%)という結果。

どんな講義を受けてみたいかを尋ねた自由記述には、344人から回答があった。

他大学に行くのは、「タイパ(タイムパフォーマンス)が悪い」が、「オンラインやオンデマンドであれば受けてみたい」というのは、若者へのアプローチが鍵となることを示唆している。

問15 インターンをするなら、どのような企業や団体を選びたいかは、

「大企業」(31.9%)

「わからない」(24.1%)

「中小企業」(14.6%)

「国や地方自治体」(11.3%)

「外資系企業」(9.3%)

「NPOやNGO」(8.8%)

大企業志向が強い。日本企業の99%は中小企業である。「わからない」とこたえた若い学生に、県内優良企業の魅力をわかってもらうことが、県内就職へとつながるのではないか。

問16 就職先の希望地域は、

「関西」(36.9%)

「兵庫県内」(18.2%)

「わからない」(15%)

「神戸市内」(8.9%)

「その他国内」(8.8%)

「首都圏」(7.6%)

「海外」(4.7%)

関西、兵庫県内、神戸市内を合わせ、約6割。加盟校の学生は、地元志向が強めといえる。

問17 ボランティア活動をしたことが「ある」(59.4%)、「ない」(40.6%)。
高校生までにボランティアを経験することが、もはや当たり前になっている

問18 やったことのあるボランティア(いくつでも)は、

「まちづくり・まちおこし」(48%)

「自然・環境保全」(44.4%)

「子ども・青少年育成」(20.3%)

小中学校や高校の授業で取り組みがありそうなものや、清掃活動など若い世代でも比較的取り組みやすいボランティアが上位に並んだ。

問19 ボランティアの頻度は、「現在は活動していない」(52%)がトップ。

「2、3か月に1回」(11.7%)

「半年に1回」(10.9%)

「月1回」(9.9%)

「年1回」(7.8%)

「週に1回」(7.6%)

何かしらのボランティアを、頻度に差はあるものの、48%は続けている。

問20 SDGsで関心があるもの(複数回答)は、

「質の高い教育をみんなに」(33.3%)

「すべての人に健康と福祉を」(30%)

「ジェンダー平等を実現しよう」(28.9%)

回答者のほとんどは、大学進学をかなえた学生であり、「質の高い教育をみんなに」という思いにつながったのだろうか。「ジェンダー平等を実現しよう」は、学生の問題意識の表れ。「すべての人に健康と福祉を」は、コロナ禍を経験した正直な思いか。

問21 週に何日アルバイトをしているかは、

「2、3日」(42.5%)

「していない」(33.7%)

「4~6日」(14.2%)

「1日」(8.6%)

「毎日」(0.9%)

週に2、3日が平均的な数字。

問 22 週に何日、部活動、クラブ活動、サークルで活動するかは、

「入っていない」(52.9%)

「1日」(22.7%)

「2、3日」(17.4%)

「4～6日」(5.8%)

「毎日」(1.1%)

「入っていない」が多い。SNS の普及で、気軽に同じ趣味を持つ人と知り合い、交流できるようになったからか。

問 23 授業以外で、学内外のイベントに参加しやすい時間帯（複数回答）は、

「平日 17～20 時」(35.2%)

「土日 13～17 時」(34.7%)

「土日 12～13 時」(23.4%)

平日夕方以降、土日が好都合との結果になった。

問 24 よく利用する SNS（複数回答）は、

「LINE」(75.1%)

「Instagram」(67.7%)

「You Tube」(66.3%)

「X」(40.1%)

「Tik Tok」(22.7%)

「Facebook」(6.8%)

LINE、Instagram、You Tube、X、Tik Tok、Facebook の順。

問 25 SNS を利用している時間は、

「2～3 時間」(29.2%)

「1～2 時間」(26.4%)

「4 時間以上」(19.5%)

「3～4 時間」(14.3%)

「1 時間未満」(10.5%)

2～3 時間が約 3 割。4 時間以上も約 2 割。

問 26 アンケート回答前に、大学コンソを

「知らなかった」(86.5%)

「知っていた」(13.5%)

知名度は、約 1 割と寂しい結果に。

問 27 大学コンソ主催イベントへの興味（複数回答）は、

「子どもの居場所で活動しよう」（32.1%）

「兵庫津ミュージアムでのワークショップ」（27.6%）

「英語村」（27.6%）

「いずれも興味がない」（27%）

「ビジネスマナーと三味線」（23.8%）

「ひょうご留学生インターンシップ」（23.5%）

いずれも興味がないが約3割。大学コンソには、興味関心を高められるイベントづくりが求められている。

共同 IR の地元産業界との結果共有及び改善について

■ヒアリング項目

大学コンソーシアムひょうご神戸が実施した共同 IR「学生生活に関する意識調査報告書」について

■説明内容

本年度は、従来の「薬物に関する意識調査」から内容を一新させた。学生の興味関心を測り、大学コンソーシアムひょうご神戸の参画大学等が結果を共有し、教育改革や教育改善に生かすための調査となっている。前年度の調査は、対象が新入生だったが、本年度調査は、学年不問とした。対象が異なるため、単純比較は難しいが、前年度比 1.27 倍の 1506 名から回答を得た（昨年度は、1184 名）。

質問は 27 問あり、所要時間は 10 分。「学生生活について」の設問では、授業以外の 1 日あたりの学習時間や SNS の利用時間、単位互換制度への興味関心等を尋ねている。「就職について」の設問では、希望するインターンシップ先、就職エリアについて問うた。

学生の暮らしぶりや意識を探るため、週あたりのアルバイト頻度、サークル活動の頻度のほか、ボランティア経験や SDGs の 17 項目で関心のあるものは何かといった要素も加えた。「大学コンソーシアムひょうご神戸について」の設問では、学生から交流イベントのアイデアを募り、344 名からユニークな回答が集まった。

これらの結果は、10 月に大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで公開し、加盟校にもフィードバックさせ、来年度以降の事業活動に反映させていく。

■ヒアリング先

1. 兵庫県中小企業団体中央会

(1)日時 2024 年 7 月 16 日(火)10:00~11:00

(2)場所 兵庫県中小企業団体中央会

(神戸市中央区下山手通 4-16-3 県民会館 3 階、078-331-2045)

(3)出席者 兵庫県中小企業団体中央会 事務局長 東博幸氏、総務課長 佐藤 拓氏

(4)意見 現代の若者は、よくも悪くも目的意識が明確で、短期で結果を出したい傾向がある。就職については、地元志向が高いのはいいが、理由がよくわからない。地元に残りたい何かがあるのか。当会が大学の講義で中小企業を紹介する際、企業が持つニッチな技術より、「地元で働き、地元で暮らす」というワードに共感する学生が多く驚いた。「転勤がない」というのも魅力に映るようだ。インターンシップは、学生にとっては職場体験、企業にとっては採用活動の一環で、ミスマッチがあり、現状に問題意識を持っている。インターンシップの前に双方のすり合わせができるような企画があればいい。

2. 兵庫県商工会連合会

(1)日時 2024年7月16日(火)11:00~12:00

(2)場所 兵庫県商工会連合会

(神戸市中央区花隈町6-19 078-371-1261)

(3)出席者 兵庫県商工会連合会 事業部 広域指導センター主事 礒嶋 花帆氏

(4)意見 大学生が求めるイベントというのは、就職活動でも使えるもの(エピソードになるもの)のように感じた。SDGsに関しては、中小企業でもSDGs認証を受けることが重要になり、学生に選ばれる基準になりつつある。中小企業であっても「女性管理職の比率」「男性育休の取得率」などが問われている。学生の大手志向は変わらず、中小企業が大学生を採用するには、何らかの関わりがないと厳しい。大学が積極的にインターンシップを単位認定するとか、関西学院大学のように創業をテーマに学生と中小企業が協働するなど、学生と中小企業との接点がほしい。行政、地元商工会、大学の連携で、学生の目を地方や中小企業に向ける仕組みがほしい。

3. 兵庫県中小企業家同友会

(1)日時 2024年7月16日(火)14:00~15:00

(2)場所 兵庫県中小企業家同友会

(神戸市中央区御幸通6-1-20 GEETEX ASCENT BLDG5階、078-241-1230)

(3)出席者 兵庫県中小企業家同友会 事務局 内橋秀明氏

(4)意見 単位互換制度は、有名教授の講義であったり、受け入れ大学と送り出し大学との学生交流の場があったりしないと、参加者を増やすのは難しい。学生生活の悩みで「生活費など金銭面のこと」が入ったのは、厳しい現状の表れ。会員企業も新卒採用に苦勞しているが、同友会の要望で実現した「兵庫型奨学金返済支援制度」は好評だ。アンケートからは、いまいち学生気質がみえない。友人がほしいといいつつ、サークルに入らない矛盾。狭い世界で完結しているように見受けられた。コンソが持つ他大学との交流や、留学生との交流事業で、こうした学生に気づきやきっかけを与えてほしい。

(注)兵庫型奨学金返済支援制度=兵庫県内の中小企業に就職すれば、奨学金返済の自己負担が「ゼロ」になるというもの。県が返済額の三分の二、企業が三分の一を負担。

集まれ！若手職員！

担当者のための 「リスクに関する 情報交換会(防災茶話会)」

くつろいだ雰囲気、仲間とつながろう！

参加費
無料

こんなお悩みにアプローチ！

防災担当の職員に求められることは？

他大学での取り組みを聞きたい！

災害時における大学の役割は？

2024年

10月28日(月)

15:30 - 17:00

申込はコチラ！▶



講師

吉田 哲也氏

兵庫県危機管理部

防災支援課伝承普及班主幹

2003年入庁。2017～2018年、県立
大学大学院減災復興政策研究科修了。
修論テーマは「行政施策と住民の避難意
識のギャップについて」。現在は、伝承普
及班で、震災30年事業の推進に携わる。



令和6年度「災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議」
「災害ボランティアコーディネーター養成研修（応用編）」
合同開催

日 時：令和6年9月4日(水)
13:15～16:30
場 所：神戸クリスタルタワー3階「クリスタルホール」

1 開 会

2 プログラム

(1) テーマ

『令和6年能登半島地震における被災者支援
～災害ボランティアセンターの運営・支援の連携～』

(2) 内容

① 基調講演

李 仁鉄 氏（特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）

② リレートーク

頼政 良太 氏（被災地NGO協働センター 代表）

直 龍芳 氏（社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 総務管理課 課長）

③ トークセッション・意見交換・質疑応答

- ・基調講演とリレートークの内容を深めるトークセッション
- ・県内で大規模災害が発生した際の支援と受援への対応, 平時からの取組など
意見交換及び質疑応答

3 情報提供

今年度の「大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練」について

4 閉 会

令和6年度「災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議」
「災害ボランティアコーディネーター養成研修(応用編)」合同開催

《出席者名簿》

○ 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議委員

所属	氏名	職名	委員の代理出席	備考(随行者等)
【県域団体】				
生活協同組合コープこうべ	藤原 智子	地域活動推進部 組織運営推進・統括		
公益社団法人兵庫県看護協会	松下 清美	専務理事	○	永井 桂子
日本赤十字社兵庫県支部	伴中 正倫	事業部長		
兵庫県経営者協会	橋本 康	業務部長		
日本労働組合総連合会兵庫県連合会	西田 浩樹	副事務局長		
公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会	古寺 俊祐	日本JC連携推進会議 議長		
一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸	佐藤 英代	コーディネーター	○	
兵庫県立学校長協会	沖 良宣	会長		
兵庫県生活協同組合連合会	江見 淳	専務理事		権藤 茜
ライオンズクラブ国際協会 3 3 5-A地区	藤之原 美津子	地区アラート委員長		
ライオンズクラブ国際協会 3 3 5-D地区	森本 匡俊	アラート(緊急援助)委員長		
特定非営利活動法人 兵庫県防災士会	杉山 弘子	事務局長		
【中間支援NPO等】				
神戸	認定特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸	柳井 俊郎	○	
	公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団	福田 和昭	○	
	認定NPO法人 しみん基金・こうべ	戸田 香苗		事務局
	特定非営利活動法人 地域チャレンジセンター・プラス	春山 尚貴	○	理事
阪神南	特定非営利活動法人 あしやNPOセンター	金子 美保		事務局・会計
阪神北	特定非営利活動法人 市民事務局かわにし	三井ハルコ		理事長 (代理出席の場合) 吉尾 豊
	特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター	大島 一晃		理事・事務局長
東播磨	一般財団法人 明石コミュニティ創造協会	藤城 宏樹		理事長
北播磨	特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター	飛田 協子		理事・マネージャー
但馬	特定非営利活動法人 コミュニティアートセンターブラッツ	仲山 啓一郎	○	業務部長
丹波	一般社団法人 ウイズささやま	柳田 好彦		経理課長
淡路	認定特定非営利活動法人 ソーシャルデザインセンター淡路	木田 薫		理事長

所属	氏名	職名	委員の代理出席	備考(随行者等)
【災害救援・復興専門NPO等】				
株式会社遊空間工房	野崎 隆一	代表取締役		
特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所	浅見 雅之	副理事長		
認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク	荒木 正澄	常勤職員	○	
被災地NGO協働センター	頼政 良太	代表		
人と防災未来センター	山崎 真梨子	研究員	○	
近畿災害対策まちづくり支援機構	長谷部 信一	事務局長		森川 憲二
公益財団法人 大吉財団	青井 介		○	
一般社団法人 兵庫県産業資源循環協会	小林 昌代	支部長会長		
【行政・社協】				
兵庫県県民生活部県民躍動課	佐藤 正明	課長		近澤 高志 坂口 静佳 川村 明日香
兵庫県危機管理部防災支援課	佐治 香織	防災事業班長	○	
兵庫県危機管理部災害対策課	安田 寛治	副課長	○	橋本 直
【学識経験者】				
神戸大学・兵庫県立大学	室崎 益輝	名誉教授		《委員長》

○ 市区町社会福祉協議会

地域	社協名	氏名	所属及び役職名
神戸	神戸市社会福祉協議会	深田 貴行	地域支援部 総合職
		中田 涼子	地域支援部 総合職
		安藤 大輔	福祉部 西在宅福祉センター 総合職
		山本 高志	福祉部 須磨在宅福祉センター 総合職
		馬場 圭晃	福祉部 北在宅福祉センター 総合職
		有森 孝輔	福祉部 在宅支援課 総合職
	神戸市灘区社会福祉協議会	羽渕 福代	事業推進課 主事 (VC担当)
神戸市須磨区社会福祉協議会	松本 麻紀	須磨区ボランティアセンター 所長	
阪神南	西宮市社会福祉協議会	辻野 朋子	地域福祉課 ボランティアセンター 所長
阪神北	宝塚市社会福祉協議会	大関 可奈子	宝塚ボランティアプラザzukavo 所長
		石原 あつみ	宝塚ボランティアプラザzukavo ボランティアコーディネーター
	三田市社会福祉協議会	光永 文香	地域福祉課 副課長
東播磨	高砂市社会福祉協議会	田之畑 亜希子	地域福祉課 主任補佐
		後藤 奈々	地域福祉課
	加古川市社会福祉協議会	高田 大輔	まちづくり・ボランティア推進係専任職員
		前崎 千広	まちづくり・ボランティア推進係専任職員

地域	社協名	氏名	所属及び役職名
北播磨	多可町社会福祉協議会	山口 秋樹子	地域福祉課 事務局次長兼地域福祉課長
		小山 沙有	地域福祉課 ボランティアコーディネーター
	西脇市社会福祉協議会	徳岡 かなえ	地域福祉課 ボランティアコーディネーター
	加西市社会福祉協議会	岡田 美佳	地域福祉活動推進課 課長
		朝妻 香織	地域福祉活動推進課 主任
		野村 恭子	地域福祉活動推進課 課員
中播磨	福崎町社会福祉協議会	石川 博憲	法人本部 事務局長
		竹本 博行	法人本部 地域福祉係長
		岸 道直	介護保険係 介護保険係長
	姫路市社会福祉協議会	田中 志郎	地域福祉課 主任
西播磨	赤穂市社会福祉協議会	柳生 悠介	ボランティアセンター 専任職員
	相生市社会福祉協議会	秦 かのん	事務局 書記
	太子町社会福祉協議会	藤原 綾	太子町ボランティアセンター ボランティアコーディネーター
		衣畑 翔太郎	主査
	佐用町社会福祉協議会	清水 範和	地域福祉課 地域福祉推進係 係長
	宍粟市社会福祉協議会	森谷 直明	地域福祉課 係長
		東山 叶法	地域福祉課 コミュニティワーカー
	上郡町社会福祉協議会	竹内 優紀	主事
但馬	新温泉町社会福祉協議会	田村 萌絵	地域福祉課 ボランティアコーディネーター
丹波	丹波篠山市社会福祉協議会	小谷 隆幸	総務課 課長
	丹波市社会福祉協議会	山本 奈津希	東部支所 支所長
		奥田 祐希	西部支所 主事
		藤本 裕二	地域福祉課 次長兼地域福祉課長

【事務局・関係者】		
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会	福本 良忠	地域福祉部長
	荻田 藍子	福祉事業部長
	岸田 彰範	福祉事業部主任
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ	芳永 和之	所長
	日原 基	事務局長兼総務調整部長
	高田 利江子	交流支援部長
	照田 詩乃	交流支援部主事
兵庫県県民生活部	木村 晶子	部長
	小谷 寛和	次長